

実践したプランの内容と成果 (実践したプランのだけ記入する内容です)

複数のプランを実践した場合にはプランの数だけ、ここから後の 5 つの表をコピーして記入してください

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

「★」は任意ですがそれ以外は極力埋めてください

プラン 1)

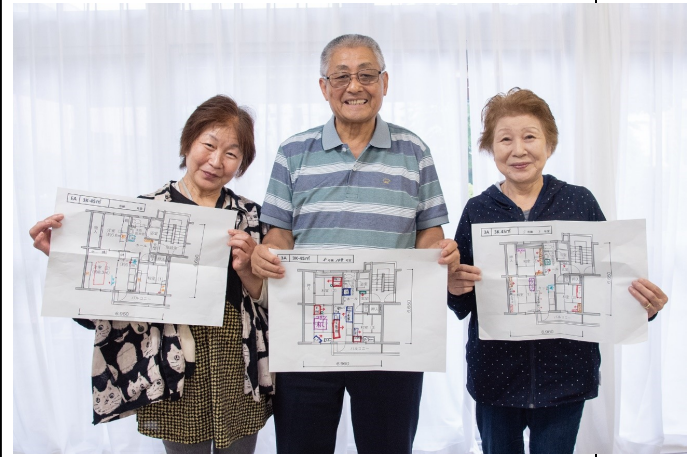
記入日	西暦 2020 年 1 月 10 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	UR 都市機構 (尾山台団地)
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	⑮
タイトル	学んで! 体験して! 楽しもう!! 第 3 回「みんなの防災カフェ」“自宅内の安全を考える” “どうする?! ライフラインが止まったら”
実践担当者のお名前	尾山台団地自治会・自主防災会 青田 敏彦

実践にかかった金額	5000 円未満
実践の準備にかかった時間	1 週間
実践活動を実施した日時	西暦 2019 年 6 月 15 日 10 時~12 時
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	地域住民・女性・高齢者・防災関係者
防災教育の対象者の人数	約 35 人
実践を行った都道府県と市区町村	埼玉県上尾市
実践を行った具体的な場所	尾山台団地集会所
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	準備したもの: 問取図、ペン等文房具、お茶・お菓子 (缶パン等)、家具転倒防止用品 (3 種類)

達成目標	① 地震発生時、部屋の中で危険な場所がないか、自宅内の家具等配置を確認。自分の身を守るには何が必要か対策を考える。 ② 発災時、ライフラインが止まって困ること・不安を共有。どのような日ごろの備えが必要か、備蓄の重要性を考える。	
どの力を身につけよう	知識・技能	全く 少し かなり <u>大いに</u>



としましたか？	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり <u>大いに</u>
	学びに向かう力・人間性	全く <u>少し</u> かなり 大いに
実践内容・方法	① 在宅時に地震発生、建物は倒壊しないことを前提に在宅避難を想定。団地に存在する住宅の各種間取図を準備し参加者に配布。自宅内の家具や電化製品、非常用持出袋等を間取図上に記載。発災時に転倒しそうなもの、身を守るためには何が必要かグループごとに話し合ってもらう。間取図も見せ合い、気づきや改善点等を共有する。 ② ライフラインが止まった時に困ることや不安を付箋に記入し模造紙に貼る。同じような意見をルーピング。課題に対する解決策も話し合い、グループごとに発表し共有する。 ③ 休憩では、お茶と非常食の缶パンを用意し、試食しながら参加者同士のコミュニケーションを図る。 ④ 家具転倒防止用品（突っ張り棒、ガタピタ（家具前部に噛ます）等）を展示し、自宅での家具固定を啓発。 ⑤ アンケート（3問4択、自由意見）を実施し、参加者の学びや気づきを把握し、今後の活動の参考とする。	





第3回 みんなの 防災 カフェ 防災をテーマとした交流の場 「みんなの防災カフェ@尾山台団地」を開催します!! 地震・火事・台風など、いざ!という時に 知っておきたい防災知識。 —“自分の命は自分で守る” お仲間と一緒に、ぜひご参加ください!! 学んで! 家の中は安全ですか?! 地震発生時、部屋の中で危険な場所はありませんか? 寝室の本棚が倒れそう、物が散乱、足の踏み場もない… 家具の配置などを再確認し、素早く安全に避難できるよう対策を考えましょう! コメンテーター：マンションライフ継続支援協会職員 楽しんで! 想像力を高めて「もしも!」に備える 水が出ない! どうする? 水が出ない! トイレが使えない! ガスが止まった!! お湯が沸かせない!! 電気がつかない! 薬がどこかわからない! ライフラインが止まったことを想定して、日ごろの備えをグループごとに考えましょう。 《予約不要》 直接会場へお越し下さい。 《体験して!》 家具転倒防止用品(展示) 家具が倒れないよう固定していますか?! 転倒防止用品も様々な種類があります。確認しましょう!! ◆◆防災カフェでつながろう◆◆ 《今後の予定》 尾山台団地や団地周辺にお住まいの方もご参加いただけるイベントを企画予定です。 振るってご参加ください!! お問合せ(電話) 048-721-3752 (尾山台団地自治会事務所) 【主催】 尾山台団地自治会 尾山台団地自主防災会連合会 【協力】 UR都市機構							
得られた成果	・家具転倒防止対策や高さの低い家具に切替える、電化製品の上に物を載せない(例: 電子レンジの上にトースターを置かない) ・自分の身を守るためには避難経路の確保が必要で、部屋の整理が重要 ・寝室には家具等を置かないようにする ・命を守るためには怪我をしないことも重要。(ガラスの破片等で足元を怪我しないようスリッパや室内履きを用意) ・災害時にはコミュニケーションも重要。ご近所同士の会話も大切。						
どのくらい身につきましたか?	<table border="1"> <tr> <td>知識・技能</td><td>全く 少し かなり <u>大いに</u></td></tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td><td>全く 少し かなり <u>大いに</u></td></tr> <tr> <td>学びに向かう力・人間性</td><td>全く 少し かなり <u>大いに</u></td></tr> </table>	知識・技能	全く 少し かなり <u>大いに</u>	思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり <u>大いに</u>	学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり <u>大いに</u>
知識・技能	全く 少し かなり <u>大いに</u>						
思考力・判断力・表現力	全く 少し かなり <u>大いに</u>						
学びに向かう力・人間性	全く 少し かなり <u>大いに</u>						
課題・苦労・工夫	日曜日の午前中に実施したが、中高年から高齢者の参加が多く、若い世代の参加を得られなかった。「防災」を自分ごとと捉えてもらい、若い世代						



	の参加者を増やすための環境づくりが今後の課題。例えば、子育て世代の参加を促すために、子供の遊び場を会場内に作る等。
--	---

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください	
伝えたい相手	集合住宅の自主防災会
伝えたい内容	・自宅内の安全性の確認やライフラインが止まった時の備蓄の必要性等、二次災害を軽減する効果がある。 ・在宅避難のための「自助力」、住民同士のコミュニケーション力「共助力」のアップにもつながる。